

Information

学納金

対象	入学金	授業料	初年次学納金合計
下関市内在住者	141,000円	535,800円	676,800円
上記以外	282,000円		817,800円

※下関市内在住者とは、本人またはその配偶者、もしくは親（実父母および養父母をいう）が入学前年の4月1日から引き続き下関市内に住所を有すると住民票等により理事長が認めた者を指します。
※諸会費は含みません。

下関市立大学について

下関市立大学は、1956年に経済単科の短期大学として開学した後、1962年に4年制へ移行した歴史ある公立大学です。本学は、社会の期待とニーズに応えるべく総合大学化を目指し、新時代における教育と研究への挑戦を行います。

下関市立大学の公式SNSはこちらから



キャンパス/アクセス

看護学部棟完成イメージ図



MAP



JR下関駅から	<ul style="list-style-type: none"> ■ サンデンバス3番のりば(約20分乗車)、「山の田」バス停下車徒歩4分、「大学町二丁目」バス停下車徒歩2分 ■ サンデンバス5番、6番のりば(約20分乗車)、「山の田」バス停下車徒歩4分
JR幡生駅から	<ul style="list-style-type: none"> ■ 徒歩約20分
JR新下関駅(新幹線・東口)から	<ul style="list-style-type: none"> ■ サンデンバス1番のりば(約15分乗車)、「川中豊町線」に乗車、「大学町二丁目」バス停下車徒歩2分 ■ タクシー利用の場合約10分

看護学部(仮称)の設置計画は予定であり、内容は変更する場合があります。

FACULTY OF NURSING

2025年4月開設(予定)
認可申請中



ともに進む、
健やかな未来へ

下関市立大学
看護学部(仮称)

[入学定員]
80名

[取得学位]
学士
(看護学)

健やかな未来を見据え、人や地域とともに、確かに歩み続ける。
そんな看護の専門職者を育て、地域社会に貢献していきます。



5年先、10年先を見据えて、人々を支える看護実践力を身につける

変化が著しく将来を予測できない時代だからこそ、
人々の健康課題の発見・改善に向けて行動できる看護人材が必要です。
下関市立大学は、医療機関や療養施設に限らず人が生活する場において、
下関・関門地域に暮らす人々がその人らしく生活し、
健康で幸せに生きることを支える看護専門職者を養成します。



看護学部（仮称）の設置計画は予定であり、内容は変更する場合があります。

身につける力

看護の
基礎的実践力

多様性を
受け入れる人間力

連携・
協働する力

看護を
探究する力

地域住民の
健康を考える力

人々が健康で
幸せに生きることを
支える看護師・保健師



取得資格・ 免許	受験資格取得	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格（別途保健師コース履修による）
	免許・資格取得	養護教諭一種教員免許状（別途教職課程履修による） 養護教諭二種教員免許状（保健師免許状取得後申請） 第一種衛生管理者免許状（保健師免許状取得後申請）
想定される 進路	医療機関／行政機関（保健所・保健センターなど）／健康管理室を有する企業／ 養護教諭（小学校・中学校・高等学校など）／進学（助産師養成機関・大学院など）	

Message

地域住民の健康を守り 地域全体の発展に貢献していく

地域に暮らす人々が、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けられる。そのためには地域住民の健康を守り、そして「ともに」地域の発展に貢献できる人材が求められています。

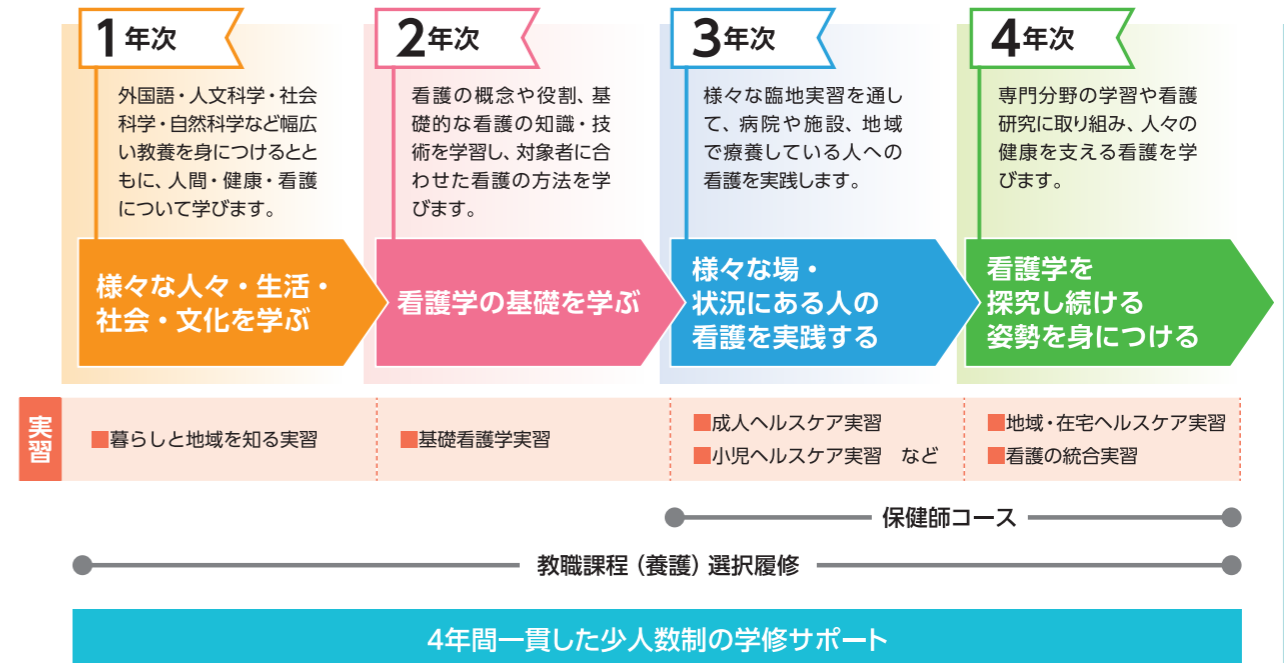
下関市立大学では、そのような看護専門職者を養成するために、2025年4月に看護学部（仮称）の開設を予定しています。「看護学を学ぶために必要な基礎学力を有し、学習習慣が身についている」「人の話を聴き、論理的に考え表現できる」「人や社会に関心を持ち、良好な人間関係を築くことができる」「看護職を志し、協調性をもって意欲的に学ぶことができる」「下関および周辺地域の保健医療福祉に貢献したいという思いがある」人に、ぜひ本学で、地域の将来を担うために必要な力を身につけていただきたいと思います。
下関・関門地域の人々の健康に寄り添いながら学び、連携・協働し、看護専門職者の道を志す方をお待ちしています。



学部長 予定者
中嶋 恵美子 特命教授
NAKASHIMA Emiko

Overview

看護学教育課程の概要



地域の将来を担う看護専門職